



2022年11月10日

各 位

会 社 名 ア ル ー 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 落 合 文 四 郎
(コード番号: 7043 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 稲 村 大 悟
コーポレート部長
(TEL. 03-6268-9791)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の状況を踏まえ 2022 年 2 月 14 日に公表した 2022 年 12 月期(2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,655	190	180	115	45.46
今回修正予想 (B)	2,730	230	235	161	63.59
増減額 (B - A)	75	40	55	46	
増減率 (%)	2.8	21.1	30.6	40.0	
(参考)前期連結実績 (2021年12月期)	2,396	278	280	183	72.59

2. 修正の理由

法人向け教育研修において、既存顧客の教室型研修実施が好調に推移し受注が大幅に拡大したほか、新型コロナウイルス感染症への感染予防を徹底したうえでのグローバル人材育成サービスの海外派遣研修の現地実施を再開したこと、並びに、etudes の ASP 利用が順調に推移したことから、売上高は前回発表の予想を 75 百万円 (増減率 2.8%) 上回る見込みとなりました。

また、利益面においては、営業力の向上に加え内部統制の強化やシステムのセキュリティ向上を目的とした投資活動を積極的に行ってまいりましたが、売上高の拡大に加え、研修のオンライン化が定着したことによる売上原価の低減が継続され売上総利益が計画よりも伸長した結果、費用の支出を上回る利益を計上する見込みとなりました。さらに、営業外収益において、外貨建て資産の評価替えを行った結果、為替相場の変動により為替差益が発生したことにより経常利益が増加いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、感染拡大の収束時期が不透明ではあるものの、人材育成を取り巻く環境は、当社の主要顧客である大企業を中心にオンライン化やデジタル化が今後も加速していくものと予測しております。これは、研修のオンライン化や e ラーニングの販売を推進している当社にとって追い風となる環境と認識しており、新型コロナウイルス感染症拡大による当社の業績への影響は軽微であると考えております。

以上のことから、2022 年 12 月期連結通期業績予想につきましては、連結売上高 2,730 百万円、営業利益 230 百万円、経常利益 235 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 161 百万円とさせていただきます。

以 上